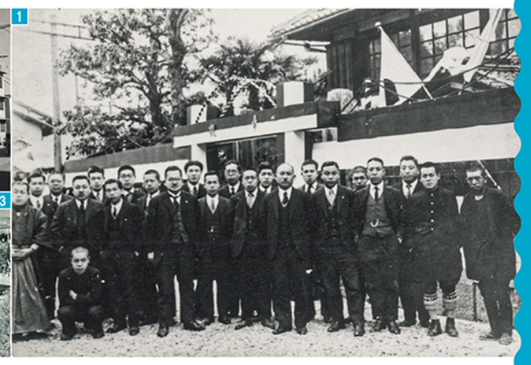
多治見市80年のあゆみ

80 years history ~The progress of Tajimi city~



1 昭和15年：市制施行時の多治見市役所職員
2 昭和27年：新築の旧多治見市民病院
3 昭和34年：伊勢湾台風 被害現場写真
4 昭和40年：国体 軟式野球 大観衆前の快打

1950

- 1940年（昭和15）市制を施行する（面積35・14平方キロメートル、人口2万6820人）。
- 1944年（昭和19）小泉村及び池田村（24・37平方キロメートル）を編入する。
- 1946年（昭和21）天皇陛下巡幸。
- 1947年（昭和22）東濃健康保険病院（後の多治見市民病院）が開設する。
- 1948年（昭和23）多治見市警察が設置される。
- 1949年（昭和24）多治見市消防本部が発足する。
- 1950年（昭和25）市庁舎が完成する（延2694平方メートル、1976万円）。
- 1951年（昭和26）土岐郡市之倉村（5・7平方キロメートル）及び笠原町（19・72平方キロメートル）を編入する。
- 1952年（昭和27）多治見市に滝呂地区を残し、笠原町（16平方キロメートル）が分離する。
- 虎渓山永保寺開山堂、観音堂が国宝に指定される。
- 1954年（昭和29）町内会が発足、区長会組織が結成される。
- 1955年（昭和30）荒川豊蔵氏が重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定される。
- 1956年（昭和31）じん芥焼却場が完成する（10トン炉）。
- 1957年（昭和32）天皇・皇后両陛下行幸啓。
- 県下初の有料道路として愛岐道路が開通する（幅6メートル、延長1万1763メートル、3億4千万円）。
- 未曾有の集中大豪雨。被害総額4億4700万円。
- 1959年（昭和34）伊勢湾台風襲来（倒壊家屋980戸、浸水家屋57戸）。
- 陶磁器意匠研究所が市に移管される。
- 1960年（昭和35）可児郡姫治村の一部（11・42平方キロメートル）を編入する。
- 岐阜県陶磁器試験場（現セラミックス研究所）初代場長、井深捨吉氏が名誉市民に推挙される。
- 1961年（昭和36）し尿処理場が完成する（処理能力1日27キロリットル）。
- 1962年（昭和37）米国テラホート市と姉妹都市となる。テラホート市長ラルフ・タッカー氏が多治見市を親善訪問する。

5 昭和40年：天皇・皇后両陛下行幸啓記念写真
6 昭和45年：昭和38年ごろにピークを迎えた集団就職
7 昭和46年：暫定二車線で開通した多治見バイパス
8 昭和53年：東濃鉄道笠原線のさよなら列車

1960

- 1964年（昭和39）市民体育館が完成する（1963平方メートル）。
- 1965年（昭和40）第20回岐阜国体が開催され、軟式野球・ボクシングの主会場となる。
- 天皇・皇后両陛下行幸啓。
- 1966年（昭和41）中央線、名古屋・瑞浪間（50・1キロメートル）が複線電化される。
- 1968年（昭和43）多治見市総合開発計画（第一次）を策定する。
- 1969年（昭和44）市民プールが完成する（50メートルプール9コース、幼児用プール）。
- 陸上競技場が完成する（2万4800平方メートル）。
- 公共下水道事業に着工する（処理区域150・8ヘクタール）。

1970

- 1970年（昭和45）市役所南分庁舎が焼失する。
- 1971年（昭和46）国道19号多治見バイパスが完成する。
- 東濃鉄道笠原線が旅客営業を休止、貨物営業のみとなる。
- 荒川豊蔵氏文化勲章を受章。名誉市民に推挙される。
- 1972年（昭和47）学校給食センター（高根調理場）が完成する（670平方メートル、5965万円）。
- 中央自動車道、小牧JCT・多治見間が開通する。
- 1973年（昭和48）五代目加藤幸兵衛氏が岐阜県無形文化財保持者に認定される。名誉市民に推挙される。
- 1974年（昭和49）公共下水道、池田下水処理場が通水する（雨水）。
- 新市庁舎（現・本庁舎）が完成する（8571・34平方メートル、9億7243万円）。
- 土岐川が一級直轄河川に昇格する。

1980

- 1975年（昭和50）多年にわたり市議会議員として貢献された柴田一蔵氏が名誉市民に推挙される。
- 1977年（昭和52）公共下水道の供用を開始する（処理区域79ヘクタール）。
- 1978年（昭和53）東濃鉄道笠原線が廃止。
- 1979年（昭和54）多年にわたり市長、県議会議員として貢献された加藤鐐一氏が名誉市民に推挙される。
- 1981年（昭和56）文化会館が完成する（7552平方メートル、21億円）。
- 1982年（昭和57）保健センターを開設する。
- じん芥処理場、三の倉センターが完成する（50トン炉2基）。